

また、東日本大震災を引き起こしたM9クラスの超巨大地震が、道東沖で過去6500年の間に18回も繰り返し発生していることがわかりました。これは津波によって、内陸まで運ばれた海の砂などの地層を調査することでわかりました。

これらの地震の発生間隔は平均して340～380年です。前回の超巨大地震は17世紀に発生し、十勝沖から根室沖の広い範囲で地震を起こしたことがわかっています(図3参照)。



図3：17世紀に発生した超巨大地震を起こした範囲(図中の黄色く塗りつぶした範囲)

下の表は、道東沖のそれぞれの領域(図1参照)で、今後30年以内に地震が発生する確率を示しています。根室沖では、1994年の地震と同程度の規模であるM8程度のプレート間巨大地震の確率が80%程度と高いです。一方、超巨大地震の確率は7～40%ですが、前回の地震から400年程度経過し、過去の平均の発生間隔を既に超えてしまっているため、次の超巨大地震の発生が切迫していると言えます。

このように、道東沖の超巨大地震や巨大地震は、いつ起きてもおかしくない状態にあり、中標津町では震度6弱以上の被害を伴う強い揺れに見舞われると予測されています。

評価対象地震	発生領域	規模	確率
プレート間巨大地震	十勝沖	M8.0～8.6程度	8%
	<b>根室沖</b>	M7.8～8.5程度	<b>80%程度</b>
	色丹島沖および択捉島沖	M7.7～8.5程度	60%程度
<b>超巨大地震(17世紀型)</b>	<b>十勝沖から択捉島沖(根室沖を含む可能性高)</b>	M8.8程度以上	7～40%

地震の大きな揺れによる被害を軽減するためには、事前の備えが重要です。室内では、家具を固定し、安全なスペース(物が落ちてこない、倒れてこない)を作っておきましょう。気象台では、大きな揺れを予測すると緊急地震速報を発表します。テレビ、ラジオ、携帯電話などで、この情報を見聞きしたら、すぐに大きな揺れがやってくるので、揺れから身を守る行動を取ってください。また、気象台が発表する防災情報は下記ホームページで内容を確認できるので、災害時などは、最新の情報を入手しご確認ください。

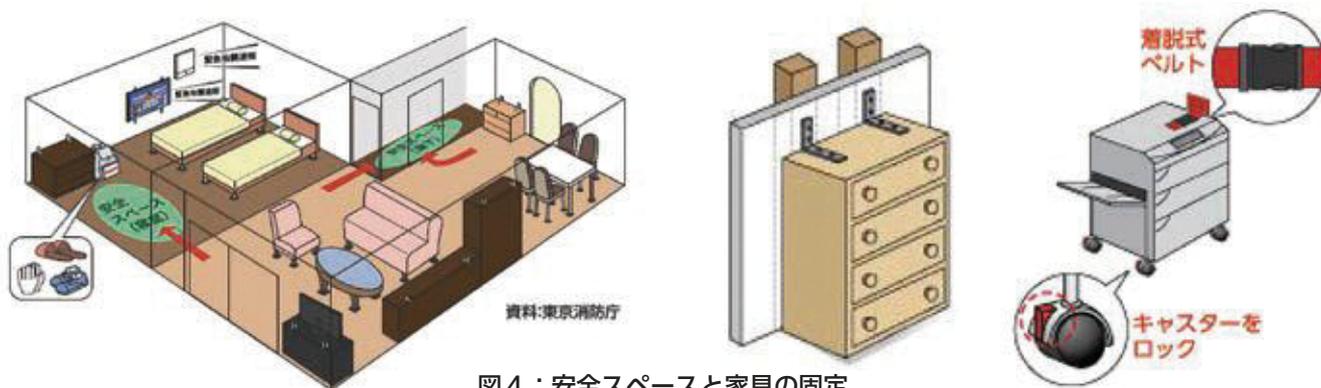


図4：安全スペースと家具の固定

●釧路地方気象台 ☎0154-31-5146

ホームページ：<https://www.jma-net.go.jp/kushiro/index.html>

●地震情報(気象庁ホームページ)：<https://www.jma.go.jp/jp/quake/>

※図1～3は地震調査委員会のホームページの資料から転載しています。

詳しくは、総務課 防災係まで。



じゃがいもずきん  
「ききぼう」くん

毎年10月4日は、中標津町防災の日です！

### 中標津町防災の日特別企画

## 中標津町が 大きな揺れに 見舞われる可能性は？

### 中標津町防災の日

平成6年（1994年）10月4日午後10時23分に発生した北海道東方沖地震で中標津町も大きな被害を受けたことから、いつどこで起こるか予測がつかない災害に対して、当時の惨状を改めて思い起こすとともに、日頃からの備えに万全を期してもらうなど広く住民に防災意識を高めてもらうために、10月4日を中標津町の「防災の日」と位置づけしています。

釧路地方气象台 地震津波防災官 佐鯉 央教

今年の4月14日に中標津町で震度5弱の揺れを観測する地震がありました。久しぶりの大きな揺れに驚かれた方は多いと思います。中標津町で震度5以上の揺れを観測したのは、1994年10月4日に北海道東方沖で発生したマグニチュード(以降Mと示す)8.2の巨大地震以来です。この時は養老牛で震度5を観測しましたが、当時震度計が設置されていなかった市街地では、これよりも大きい震度であったと言われています。この地震によって、建物の天井落下や道路の陥没など大きな被害を受けました(下の写真)。



今後、中標津町が大きな揺れに見舞われるような地震は起こるのでしょうか。

道東沖の海域(領域名称などは図1を参照)では、M8程度のプレート間巨大地震が、数十年から百数十年間隔で発生しています。十勝沖では、1952年と2003年に巨大地震が発生していますが、2003年の地震は、1952年の地震の南東側領域までは地震を起こしていません。一方、根室沖では、巨大地震が1973年以降しばらく発生していません。もし、根室沖で次の巨大地震が発生した場合、2003年で地震を起こさなかった領域まで合わせて地震を起こすことが想定され、1973年より大きな被害をもたらすことが懸念されています(図2参照)。

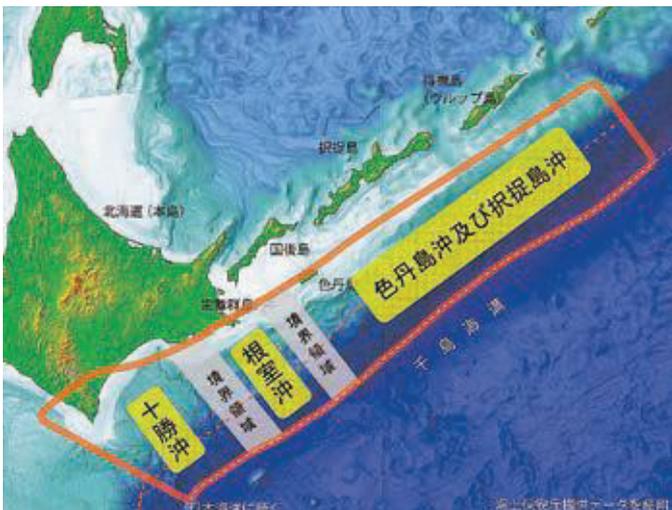


図1：道東沖の海域の領域区分(地震調査委員会による)



図2：近年、十勝沖と根室沖で発生した巨大地震が地震を起こした範囲。赤い点線は、次に根室沖で発生する巨大地震の想定範囲(数字は地震が発生した年)。